

取らない政策運営がボトルネックになっています。したがって、「選択と集中」で、①半導体、量子、AI、ロボット分野の国家戦略化、②リスクリングを中小企業や非正規労働者まで広げる人材投資の構造改革、③大学・研究機関の大胆な自由化（官主導から研究者主導へ）を断行し、「挑戦する科学技術立国」へと日本を変えるのです。

強くて信頼できる 日本の戦略外交を主導します！

外交と安全保障については、私はこの一年、国家安全保障担当の総理大臣補佐官として、その最前線に立ってきました。石破政権の下で、米国との同盟関係を深化させるとともに、インド太平洋地域の戦略的連携を現実の形にしました。

まず、米国との安全保障協力をさらに深化させました。

宇宙、サイバー、AIといった新領域での共同運用を拡大し、日米同盟を「防衛協力から戦略協働」へと進化させました。

次に、アジアへの日本の再進出です。

これまで中国が主導してきた中央アジアや東南アジアにおいて、日本の経済・技術・人材のプレゼンスを高めました。これは単なるODAではなく、「信頼と透明性」を基盤とした新しい日本外交です。

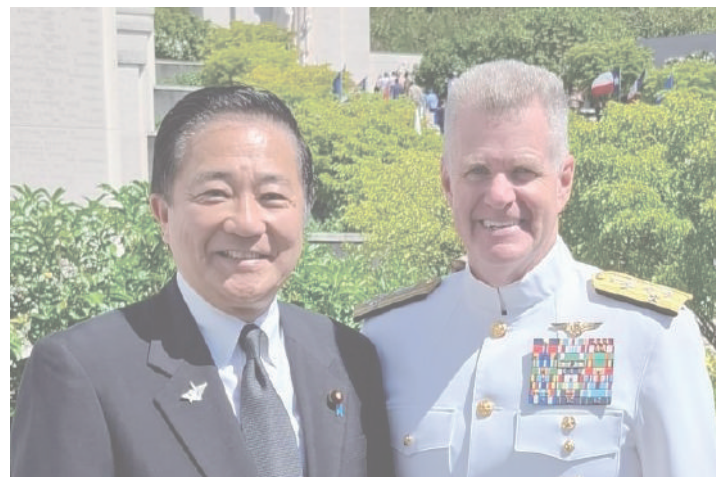
また、インドや韓国との連携強化にも全力を尽くしてきました。

関税交渉などで対米関係に苦しむ両国と、経済安全保障の枠組みを構築し、サプライチェーンの再編に日本が主導的役割を果たしました。

そして時代を画する成果は、オーストラリアへの護衛艦輸出です。

私はその交渉過程で中心的役割を担い、戦後日本として初めて、自由で開かれたインド太平洋の防衛協力を現実の形に結びつけました。

これらの成果を次期政権につなげ、より安定した国際秩序を築いていく決意です。



米国インド太平洋軍司令官サミュエル・パパロ海軍大将と会談
(ハワイ州ホノルル)

こどもたちの未来を 保障する！

そしてもう一つ、私の政治の原点——それは、「こどもたちの未来を守る政治」です。

教育、医療、地方の再生。どれも待ったなしです。

少子化対策を単なる「人口対策」としてでなく、「一人ひとりのこどもが夢と希望を持てる社会をつくる総合政策」として位置づけ直します。さらに、虐待や貧困など逆境体験に苦しむこどもたちを救済するために、児童福祉法の改正にも全力で取り組みます。

政治とは、混乱の時にこそ本質が問われます。

世の中が揺れる時に、私は真に信頼される政治家でありたい。

私はその覚悟で、この荒波に立ち向かってまいります。

すべては、「未来に誇れる日本」のために。

衆議院議員 長島昭久 揮

